



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社フジインコーポレーテッド

コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大橋 圭吾 TEL 052-503-8181

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,435	15.4	2,272	69.2	2,283	62.7	1,651	67.4
2020年3月期第1四半期	9,046	△2.4	1,343	△14.9	1,404	△18.6	986	△19.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,740百万円 (208.7%) 2020年3月期第1四半期 563百万円 (△59.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	66.82	—
2020年3月期第1四半期	40.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	59,968	52,643	87.8	2,129.55
2020年3月期	59,496	52,079	87.5	2,106.74

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 52,643百万円 2020年3月期 52,079百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	47.00	87.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	50.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

期末の配当予想につきましては、現時点で通期業績の予想が困難なため未定といたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	20,000	5.9	3,600	25.7	3,650	22.7	2,800	26.6	113.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

通期連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なことから未定といたします。今後、合理的な予想が可能となり次第、速やかに開示いたします。なお、詳細につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	28,699,500株	2020年3月期	28,699,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,979,131株	2020年3月期	3,979,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	24,720,389株	2020年3月期1Q	24,647,992株

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度 株式給付信託（BBT）及び株式給付信託（J-E SOP）を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により各国で経済活動が停滞し、また、貿易摩擦に加え香港問題等により米中対立の懸念が高まる中、世界経済は不透明感が一層強まりました。一方、世界半導体市場は、スマートフォン及び自動車の市場停滞の影響を受けたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止のための「STAY HOME」に伴うデータセンター及びPC向けの需要増加により、ロジックデバイス、メモリデバイスともに市況は堅調に推移したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大や米中貿易摩擦の激化に対する懸念から在庫積み上げの動きも高まりました。

こうした状況下、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高10,435百万円(前年同期比15.4%増)、営業利益2,272百万円(前年同期比69.2%増)、経常利益2,283百万円(前年同期比62.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,651百万円(前年同期比67.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、最先端半導体デバイス向けCMP製品及びシリコンウェハ向け製品の販売が増加したことにより、売上高は5,996百万円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益(営業利益)は売上増加に加え製品構成の良化により1,962百万円(前年同期比61.7%増)となりました。

北米につきましては、売上高は1,507百万円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益(営業利益)は製品構成の良化により169百万円(前年同期比108.9%増)となりました。

アジアにつきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品の販売が好調に推移したことから、売上高は2,542百万円(前年同期比22.8%増)、セグメント利益(営業利益)は567百万円(前年同期比58.5%増)となりました。

欧州につきましては、売上高は388百万円(前年同期比3.7%減)、セグメント利益(営業利益)は53百万円(前年同期比5.3%減)となりました。いずれも為替の影響により前年同期比で僅かに減少となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハ向け製品につきましては、半導体業界の稼働が高かったことに加え、シリコンウェハの在庫積み上げの動きもあったことから、ラッピング材の売上高は1,179百万円(前年同期比19.2%増)、ポリシング材の売上高は2,284百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

CMP向け製品につきましては、データセンター及びPC向け需要の増加に伴う半導体業界の高稼働を背景に、ロジック、メモリともに最先端デバイス向け製品の販売が増加したことにより、売上高は5,015百万円(前年同期比30.3%増)となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、SSD(ソリッドステート・ドライブ)への置き換えによる市場の縮小及び顧客の生産プロセスの変更の影響により、売上高は481百万円(前年同期比11.2%減)となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、売上高は900百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、472百万円増加し、59,968百万円となりました。これは、流動資産のその他が327百万円、繰延税金資産が300百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が593百万円、受取手形及び売掛金が521百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、91百万円減少し、7,325百万円となりました。これは、流動負債のその他が345百万円、支払手形及び買掛金が263百万円それぞれ増加したものの、賞与引当金が573百万円、未払法人税等が146百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、563百万円増加し、52,643百万円となりました。これは、利益剰余金が475百万円、その他有価証券評価差額金が77百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の見通しにつきましては、最近の業績動向を踏まえ、業績予想を開示いたしますが、通期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス及び米中貿易摩擦の動向が当社業績へ及ぼす影響を見通すことが未だ困難であるため、引き続き業績予想を未定とし、合理的な算定が可能になり次第、速やかに開示いたします。

詳細につきましては、本日付けで別途開示しております「2021年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,769	24,362
受取手形及び売掛金	8,228	8,749
有価証券	1,499	1,299
商品及び製品	3,695	3,901
仕掛品	988	957
原材料及び貯蔵品	2,610	2,592
その他	503	176
貸倒引当金	△18	△19
流動資産合計	41,279	42,021
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,788	6,695
その他(純額)	7,144	7,190
有形固定資産合計	13,933	13,886
無形固定資産		
	437	394
投資その他の資産		
投資有価証券	2,939	3,051
繰延税金資産	787	486
その他	129	137
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,846	3,666
固定資産合計	18,217	17,947
資産合計	59,496	59,968

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,499	2,763
未払法人税等	767	621
賞与引当金	1,242	668
役員賞与引当金	—	19
その他	1,886	2,231
流動負債合計	6,395	6,304
固定負債		
繰延税金負債	0	2
退職給付に係る負債	752	760
株式給付引当金	157	151
その他	110	106
固定負債合計	1,021	1,021
負債合計	7,416	7,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,570	5,570
利益剰余金	47,124	47,599
自己株式	△5,449	△5,449
株主資本合計	51,998	52,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	172
為替換算調整勘定	30	36
退職給付に係る調整累計額	△44	△40
その他の包括利益累計額合計	80	169
純資産合計	52,079	52,643
負債純資産合計	59,496	59,968

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	9,046	10,435
売上原価	5,324	5,528
売上総利益	3,721	4,906
販売費及び一般管理費	2,378	2,634
営業利益	1,343	2,272
営業外収益		
受取利息	31	24
受取配当金	15	14
為替差益	0	—
その他	14	19
営業外収益合計	62	58
営業外費用		
為替差損	—	45
その他	1	1
営業外費用合計	1	47
経常利益	1,404	2,283
税金等調整前四半期純利益	1,404	2,283
法人税、住民税及び事業税	207	366
法人税等調整額	209	265
法人税等合計	417	632
四半期純利益	986	1,651
親会社株主に帰属する四半期純利益	986	1,651

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	986	1,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	77
為替換算調整勘定	△452	6
退職給付に係る調整額	7	4
その他の包括利益合計	△423	88
四半期包括利益	563	1,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	563	1,740

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	5,084	1,487	2,070	403	9,046	—	9,046
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,577	205	61	—	1,844	△1,844	—
計	6,661	1,692	2,132	403	10,890	△1,844	9,046
セグメント利益	1,213	81	358	56	1,709	△366	1,343

(注) 1. セグメント利益の調整額△366百万円は、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△384百万円及び棚卸資産の調整額16百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	5,996	1,507	2,542	388	10,435	—	10,435
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,984	315	58	—	2,358	△2,358	—
計	7,981	1,823	2,600	388	12,793	△2,358	10,435
セグメント利益	1,962	169	567	53	2,754	△481	2,272

(注) 1. セグメント利益の調整額△481百万円は、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△452百万円及び棚卸資産の調整額△29百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。